



2023年1月
開設予定

栗山駅南交流拠点施設 「栗山煉瓦創庫 くりふと」って何？



栗山駅南交流拠点施設は、長年の懸案であった新町通りの再生を含む中心市街地区における諸課題の解決に向けた、栗山町中心市街地都市再生整備計画（平成30年度～令和4年度）に基づき、現在、各所で道路整備などを進めています。

この一環として、既存のレンガ倉庫を活用した栗山駅南交流拠点施設改修工事を令和2年度より着工し、令和5年1月に開設する予定としています。

このほど、本施設の活用計画案を策定しましたので、広報くりやま7月号・8月号の2回にわたり、その一端をお伝えします。

どのような施設として 整備されるのか？

栗山駅南交流拠点施設は、中心市街地区域内の利用者増を目指し、町内外からの集客や交流につながるコミュニティ施設です。施設の呼称（愛称）は「栗山煉瓦創庫 くりふと」としています（詳しくは広報くりやま8月号で紹介）。

施設は栗山駅から約150メートルの南東方向、原っぱ駐車場の隣に位置し、小林酒造倉庫群と同じく、町内に残る数少ない既存のレンガ倉庫、および周辺の土地を

整備予定地としています。

レンガ倉庫は昭和36年に建築されたもので、そちら南農業協同組合の農産物保管倉庫として長年にわたり利用されてきた、歴史を感じさせる趣ある建物です。

建物は現在の外観を活かした整備を行います。築60年と老朽化が進んでいることから、安全性を最大限高められる設計・構造に配慮して改修を行います。

特に、建物内には災害発生時など有事の際に稼働する臨時災害放送用設備も含むことから、レンガ壁の崩落防止、柱の補強など、建築基準法の耐震基準（震度6強か

備わる機能・スペース の利用イメージは？

ら7に達する程度の大規模地震で倒壊・崩壊しない）をクリアするための耐震補強工事を行うほか、停電時も一部機能を維持できるように整備します。

建物の北側には駐車場・駐輪場・遊歩道を整備するほか、南側は芝生広場としてイベント利用などできるスペースとして整備します。

これらの概算工費は約3億4000万円となる見込みです。

メインフロアとなる中央の多目的ホールと総合案内は吹き抜けとして、両側の各スペースは天井のある構造です。

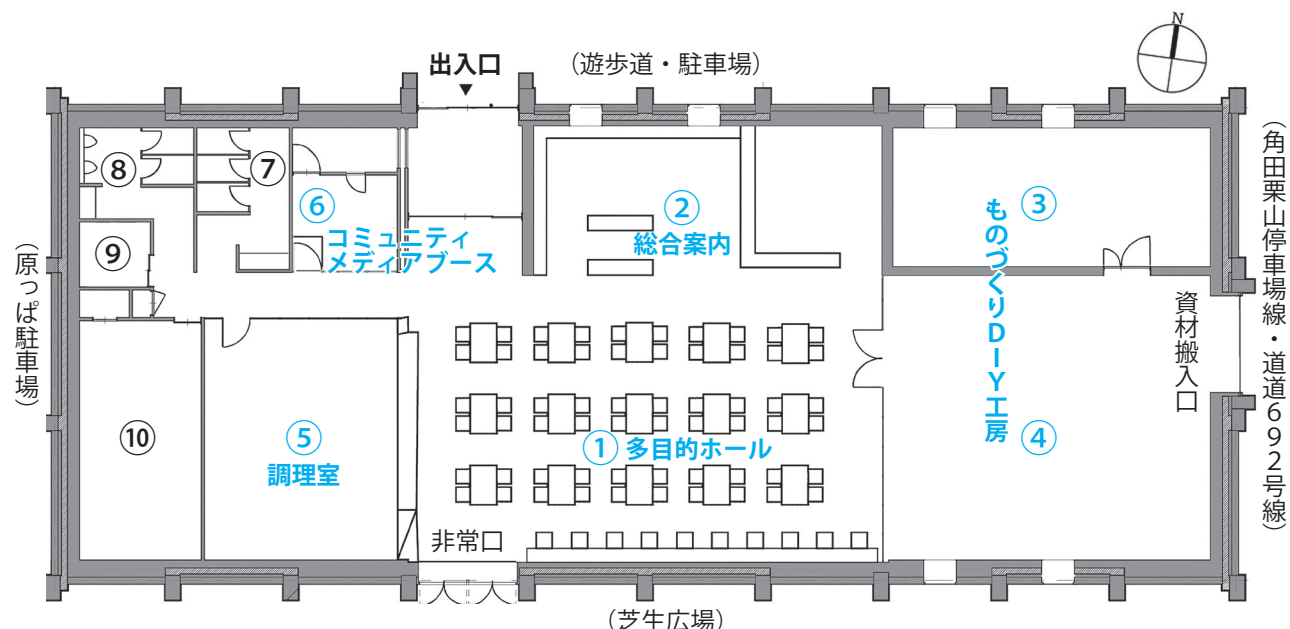
①多目的ホールは休憩や歓談、飲食、イベント利用のほか、パソコンなどの持ち込みによる仕事・学習利用、用途に応じて各スペースとの併用も可能です。来訪者への活動への興味関心を高めてもらえるよう、多目的ホールからの視認性を確保して、各スペースの活動の様子が見えるレイアウトとしています。

②総合案内は、窓口スタッフを

配備し施設サービスの紹介や利用受付をはじめ、観光、滞在、移住などあらゆる町内情報の提供と相談対応を行います。物販機能もあり、町内における旬の商品や新商品、施設オリジナル商品の展示・販売にも対応します。

③④ものづくりDIY工房は、3Dプリンターなどのデジタル工作機械や工具類、コンピュータ機器のほか、インストラクターを配置し、工作機械の貸し出し利用や、誰もが気軽に参加・体験できるワークショップをはじめ、「ものづくり」を通じて課題解決スキルを身に付けられるサービスを提供します。そのほか、プログラミングなど学校教育分野における利用も検討を進めています。

⑤調理室は、日替わりシェフによる飲食提供「まちなかレストラン」、料理講習会（料理教室）の開催、新たなメニュー・加工商品の試作研究など、チャレンジショップやレンタルキッチンとして利用提供するとともに「食」による魅力づくりを行います。



- ①多目的ホール
- ②総合案内(物販機能を含む)
- ③ものづくりDIY工房 木工室
- ④ものづくりDIY工房 作業室
- ⑤調理室
- ⑥コミュニティメディアブース

- ⑦女性用トイレ
- ⑧男性用トイレ
- ⑨多機能トイレ
- ⑩事務室

所在地	中央3丁目153-1、154-1、155-1、156-1
面積	建築面積：534.55㎡、延床面積：529.88㎡ 敷地面積：2038.38㎡
高さ	高さ(最高)：12.98m、軒高：7.98m
構造等	平屋建て（鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、軽量鉄骨造）
概算工費	建物：323,400千円、外構：16,100千円

くりやま駅前通り商店街内に準備事務所を開設



栗山駅南交流拠点施設における観光・交流事業をはじめ、関係人口の創出への事業展開に向け令和3年4月、くりやま駅前通り商店街内(旧岡嶋商店)に事務所を設け、町ブランド推進課観光・賑わい推進グループの職員と地域おこし協力隊を配置し、準備業務を進めています。

主には、これまでも取り組んできた新たな観光推進体制の構築および計画策定、ものづくりDIY工房(ファブラボ栗山)導入・活用、まちなかレストラン事業運営を含む商店街活性化推進、コミュニティ放送局開設を含む情報発信体制の構築および施策検討、イベント・特産品PRの推進などを行いながら、栗山駅南交流拠点施設における複合的な事業の展開と、将来的に施設の管理運営を担っていく法人組織の設立



を行っていきます。

地域おこし協力隊は、各業務に関する事業展開の中核的役割を担う存在として、ものづくりDIY工房運営支援員2人(令和元年10月着任)、まちなかキッチンマネージャー2人、観光交流マーケット2人、情報発信プランナー1人(以上、令和3年4月着任)を採用し、日々、チームとして結束力を高めながら、各種研修や担当業務の活動を通じて、地域情報の把握と町民および関係者とのコミュニケーションづくりなどに取り組んでいます。

前述の事業展開に向けてノウハウ構築と組織化を進めていきますが、持続的な事業経営を図っていくためには、町民皆さんのご理解も必要となります。事務所へ気軽に立ち寄りいただくほか、今後の取り組みに際しましては、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

—事務所情報—

町ブランド推進課観光・賑わい推進グループ
栗山町中央3丁目16番地
☎ 76-7787 FAX 76-7782
営業時間 8:30～17:15
(土日祝・年末年始休業)

栗山駅南交流拠点施設活用計画(案)に対するパブリックコメントを募集します

町民皆様のご意見をお待ちしています。

【募集期間】 7月1日(木)～8月10日(火)

【提出方法】 直接持参、郵送、FAX、電子メールのいずれか

【提出先】

町ブランド推進課観光・賑わい推進グループ

事務所：栗山町中央3丁目16番地 ☎ 76-7787 FAX 76-7782
kankousuishin-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

【閲覧場所】

- ・役場ブランド推進課(松風3)
 - ・総合福祉センター「しゃるる」(朝日4)
 - ・カルチャープラザ「Eki」(中央2)
 - ・農村環境改善センター(角田)
 - ・南部公民館(継立)
 - ・左記提出先
- ※町ホームページにも掲載します。



⑥コミュニティメディアブース

は、町民参加型FMラジオ番組の制作・放送による地域情報の提供(コミュニティ放送…令和6年3月放送開始予定)、災害発生時における災害状況や避難状況などの情報発信(臨時災害放送…令和5年1月稼働予定)ほか、ユーチューブ動画撮影などさまざまなメディア撮影・編集スペースとしての貸し出し利用にも対応します。

そのほかの共用設備として、自転車の貸し出しを行うシェアサイクルステーション、全館接続可能なワイファイ(Wi-Fi)、授乳室兼用の多機能トイレなどを設けます。

施設は「ものづくり」と「食」を主とし、他の町内施設や他地域にはない商品やサービスを開発・提供しながら、唯一の体験ができる場として差別化を図り、ニーズに応じた戦略的な情報発信により町内外からの来訪を促します。

栗山駅南交流拠点施設活用計画とは？

栗山町中心市街地都市再生整備計画における栗山駅南交流拠点施設の整備決定以降、町民組織「新町通り将来ビジョン実現化検討委員会」において施設の整備や機能に関する議論が行われましたが、具体的な機能や活用方法、集客(利用)促進方法、運営方法に関する決定には至りませんでした。

一方、都市再生整備計画の関連事業として、若者世代の移住・定住促進や起業支援を目的に「若者チャレンジ支援住宅」の整備や、総合計画に基づく「ものづくりDIY工房」の整備に係る事業費負担、新たな観光推進体制の構築、シティブロモーションや移住・定住促進、商店街活性化との連携による賑わい創出など、町の政策・施策事業に関する課題が存在します。

これらの諸課題や事業展開にも対応できる機能を有した施設を目指して、町では平成30年度より関連部署による活用検討プロジェクトチームを組織し、機能統合による施設整備費用の縮減、魅力強化

による来訪(利用)促進、新たな観光推進体制による施設運営方法など、あらためて具体的な活用と取り組み方法について検討を進めました。

令和元年度に活用方針を策定したほか、町民などとの合意形成を図るため、具体的な内容をまとめた活用計画案を令和3年6月に策定しました。

現在、まちづくり懇談会などでの説明や、パブリックコメントにより町民皆様のご意見を収集・反映して活用計画を完成させたいと、令和5年1月の施設開設を目指して令和3年9月頃より改修工事を開始する予定です。

では、なぜこのような施設として整備するのか、活用検討の議論から見えてきたさまざまな施設の役割と、それを担う施設の目指す姿として「関係人口を創出する栗山町ならではの持続可能な交流拠点」であるべきとの結論に至りました。

特に重要なキーワードは「関係人口の創出」です。

8月号では、その背景や理由などについて、さらに詳しくご紹介します。(次号に続く)

栗山駅南交流拠点施設

整備決定

栗山町中心市街地都市再生整備計画

中心市街地内での利用者増を目指す

